

東北関東大震災の被害状況の視察

日時：3月30日13時～17時

場所：旭市、匝瑳市（主に海岸）

被害状況：津波

調査：当センター職員、当協会活動運営委員会運営委員

●匝瑳市役所～海岸線～旭市飯岡と調査。



●匝瑳市内の海岸に行ったら、津波の被害の影響が大きい。

左下は海岸にゴミが錯乱。右下は家にもドアやガラスが割れており、家の中が丸見え。



●旭市内、特に飯岡の海岸線に入ったあたりの被害は甚大であった。



●飯岡町は、特に海から200Mまで津波が押し寄せてきたとのこと。
一部に聴覚障害者宅も被害があった模様。

●被害のあった家々に、家の前は、下の写真のような各種の用紙が貼ってあった。
青色は「安全」、黄色は「注意」、赤色は「危険」であった。
但し、青色だと住むには問題がないという指摘だが、1階は津波で浸食していたとしても、
2階で寝ることができれば、「青色」になる模様。



●半ヶ月経った後、このようにゴミは整理されてきた。



●被害が甚大だった飯岡港に行くと、既に整理されており、陸揚げされた船が1隻あった。



●港には、網が錯乱しており、沖にも網が下の写真のように、回収されていなかった。

